勤医協中央病院　診療科紹介

- 呼吸器内科
- 循環器内科
- 消化器内科
- 糖尿病内分泌内科
- 腎臓内科
- リウマチ膠原病内科
- 血液内科
- 総合診療科
- 脳神経内科
- 緩和ケア科
- 呼吸器外科
- 心臓血管外科
- 消化器外科
- 乳腺外科
- 整形外科
- 泌尿器科
- 麻酔科
- 救急科
- 婦人科
- 眼科
- 放射線治療科
- 放射線診断科
- 病理診断科

住 所：札幌市東区東苗穂5条1丁目9－1
ＴＥＬ：011-782-9111

呼吸器内科

医師

副院長	内科副科長	内科医長	内科医長
剱持　喜之	福原　正憲	餌取　諭	竹田　真一
Kemmotsu Yoshiyuki	Fukuhara Masanori	Etori Satoshi	Takeda Shinichi
医　員	**医　員**	**医　員**	**医　員**
中川　健太郎	伊藤　美祐	甲斐　仁人	佐藤　匠
Nakagawa Kentaro	Ito Miyu	Kai Masato	Sato Takumi

診療内容

- ・呼吸器悪性疾患
- ・呼吸器感染症
- ・気管支喘息
- ・ＣＯＰＤ
- ・間質性肺炎
- ・慢性/急性呼吸不全
- ・ＡＲＤＳ
- ・成人アレルギー疾患

治療

【がん薬物療法】
- ・細胞障害性抗がん剤
- ・分子標的薬
- ・免疫ﾁｪｯｸﾎﾟｲﾝﾄ阻害薬
- ・化学放射線療法

【放射線治療】
- ・標準的な照射
- ・定位照射

【その他】
- ・喘息に対する生物学的製剤の導入
- ・間質性肺疾患に対する抗線維化薬の導入
- ・慢性呼吸器疾患の外来リハビリ

検査

- ・経気管支肺生検
- ・超音波気管支鏡下リンパ節生検
- ・各種画像検査
- ・CTガイド下肺生検
- ・局所、全身麻酔下胸腔鏡
- ・肺機能検査一式

特色

- ・呼吸器疾患に幅広く対応
- ・職業性肺疾患(塵肺症、アスベスト関連疾患)の診療・検診
- ・呼吸器内科、外科、放射線治療科、病理診断科での横断的な肺癌診療
- ・RST（呼吸器サポートチーム）による院内の人工呼吸サポート

循環器内科

医師

統括院長	内科副科長	内科副科長	内科医長
鈴木　隆司	奥山　道記	郡司　尚玲	吉村　喬樹
Suzuki Takashi	Okuyama　Masaki	Gunji Takahiro	Yoshimura Takaki
医 員			
小山内　俊晶			
Osanai Toshiaki			

診療内容

- ・狭心症/急性心筋梗塞
- ・不整脈
- ・心不全
- ・末梢動脈疾患
- ・心臓弁膜症
- ・大血管疾患
- ・深部静脈血栓症
- ・肺塞栓症
- ・難治性高血圧症

治療

【冠動脈疾患】
- ・経皮的冠動脈ｲﾝﾀｰﾍﾞﾝｼｮﾝ
- ・ロータブレータ
- ・エキシマレーザー冠動脈形成術含む

【不整脈治療】
- ・ｶﾃｰﾃﾙｱﾌﾞﾚｰｼｮﾝ
- ・ﾘｰﾄﾞﾚｽﾍﾟｰｽﾒｰｶｰ
- ・ICD植え込み

【心不全治療】
- ・標準薬物治療
- ・CRT（心臓再同期療法）
- ・高齢慢性心不全の診療

【心臓リハビリ】
- ・心不全チームの介入

検査

- ・FFRCT解析
- ・ホルター心電図
- ・心筋シンチグラム
- ・長時間ｲﾍﾞﾝﾄﾚｺｰﾀﾞｰ
- ・各種画像検査
- ・トレッドミル

特色

- ・心不全チームをはじめとし、多職種が協働して診療しています
- ・札幌市内、特に東区内の循環器ｾﾝﾀｰとして心臓血管外科と協力し地域の循環器医療を担っています

消化器内科

医師

内科副科長	内科医長	内科医長
森園　竜太郎	古山　準一	高木　秀雄
Morizono Ryutaro	Koyama Junichi	Takagi Hideo

診療内容

【消化管系】
- 消化管良性、悪性腫瘍
- 胃十二指腸潰瘍
- 上部、下部消化管出血
- 食道、胃静脈瘤
- 炎症性腸疾患

【肝　臓】
- 急性、慢性肝炎
- 肝硬変症
- 肝良性、悪性腫瘍

【胆嚢･胆道系】
- 胆石胆嚢炎
- 総胆管結石
- 胆道系良性・悪性腫瘍

【膵　臓】
- 急性、慢性膵炎
- 膵良性、悪性腫瘍

治療検査

【消化管系】
- 上部消化管内視鏡検査（経口、経鼻）
- 下部消化管内視鏡検査
- 超音波内視鏡検査
- 内視鏡的止血術
- 内視鏡的胃粘膜切除
- 食道ステント挿入術
- 食道、胃静脈瘤硬化療法 結紮術
- バルーン下逆行性 経静脈的塞栓術
- 大腸ポリペクトミー

【肝　臓】
- 腹部血管造影検査
- 超音波ガイド下肝生検
- 肝動脈化学塞栓療法
- 肝動脈塞栓療法
- 肝動注化学療法
- エタノール注入療法
- ラジオ波焼灼療法
- 直接作用型抗ｳｲﾙｽを用いたIFNﾌﾘｰ治療

【胆嚢･胆道系･膵臓】
- 内視鏡的膵胆管造影
- 超音波内視鏡検査
- 膵動注療法

特色
- 門脈圧亢進症の治療に力を入れています

糖尿病内分泌内科

医師

院　長	医　員	医　員	医　員
湯野　暁子	安丸　卓磨	髙野　信之介	神野　歩
Yuno Akiko	Yasumaru Takuma	Takano Shinnosuke	Kanno Ayumi
医　員	医　員		
小泉　茂樹	伊古田　明美		
Koizumi Shigeki	Ikota Akemi		

診療内容
- あらゆるタイプの糖尿病と合併症の診断と治療
- 脂質異常症、肥満、メタボリックシンドロームなどの代謝疾患
- 甲状腺（バセドウ病、甲状腺がんなど）、副甲状腺、副腎、下垂体、性腺などの内分泌疾患
- 原発性アルドステロン症などの二次性高血圧の診断と治療

治療検査
- 1型糖尿病のインスリン治療に、持続グルコースモニタリング（CGM）や持続皮下インスリン注入療法（CSII）、ハイブリッドクローズドループ(HCL)療法を実施
- 各種内分泌負荷機能検査
- バセドウ病アイソトープ治療（主に外来で実施）
- 他診療科からの多くのコンサルテーションに対応
- 入院：糖尿病教育、血糖コントロール、内分泌精査コースを整備、専門的治療を担当
- 外来：甲状腺ホルモン迅速測定、一部の内分泌負荷機能検査、エコーガイド下甲状腺細胞診などの検査実施、内分泌疾患の診断に有用なシンチグラフィの実施
- 糖尿病性腎症重症化予防を目的とした腎サポート外来を継続

特色
- チームで取り組む医療活動
- 救急科やICUと協力し糖尿病急性合併症や内分泌緊急症にも対応
- 患者数が多いことが特徴で、勤医協中央病院と勤医協伏古10条クリニックの管理患者数は4000人以上です
- 患者さん向けに糖尿病教室、糖尿病患者会ウォークラリー、お食事会を毎年企画しています

腎臓内科

医師	内科医長 入宇田　智子 Iriuda Satoko	医　員 五十嵐　謙人 Igarashi Kento	医　員 神　英里 Jin Eri
診療内容	・急性腎障害	・慢性腎臓病	・腎疾患全般
治療検査	・蛋白尿・血尿の鑑別、腎炎の早期発見 ・腎炎の治療、急性腎障害、電解質異常、その他の内科的治療 ・慢性腎臓病管理、患者教育(腎臓病教室) ・腎代替療法選択 ・内シャント設置術、腹膜透析カテーテル挿入術の施行 ・血液透析導入、腹膜透析導入、腎移植の他院紹介 ・透析患者管理、教育 ・内シャントの閉塞や狭窄治療、腹膜透析カテーテル感染などの治療		
特色	・日本腹膜透析医学会「医師、看護師腹膜透析教育研修医療機関」 ・Shared Dicision Making（SDM：協働する意思決定）を意識した腎代替療法選択		

リウマチ膠原病内科

医師	内科副科長 桂川　高雄 Katsuragawa Takao	
診療内容	・関節リウマチ	・その他の膠原病疾患全般
治療検査	・対象疾患の外来、入院診療 ・他科に入院中の膠原病疑い症例についてのコンサルト対応	
特色	・リウマチ膠原病全般を診療してますが、特に関節リウマチの症例は多く入院患者数は全国ＤＰＣ病院の中で上位に位置しています ・整形外科と同一の病棟（運動器・リウマチセンター）で診療を行っており、関節リウマチをはじめとするリウマチ性疾患の内科、外科分野の集学的な診療が特徴です ・日本リウマチ学会認定施設として、研修医教育にも当たっています。 ・ソーシャルワーカーと協力して身体障害者手帳の取得や各種福祉制度の活用など療養上の相談にも積極的に応じています	

血液内科

医師

内科医長	医　員	医　員	医　員
佐賀　智之	石原　敏道	山脇　文彦	原田　知弥
Saga Tomoyuki	Ishihara Toshimichi	Yamawaki Fumihiko	Harada Tomoya

医　員
郎　朗
Ran Ran

診療内容

・悪性リンパ腫	・多発性骨髄腫	・白血病	・骨髄異形成症候群
・骨髄増殖性腫瘍※1	・再生不良性貧血	・特発性血小板減少性紫斑病	・自己免疫性溶血性貧血※2

※1真性多血症、本態性血小板血症、骨髄繊維症などの造血器腫瘍
※2自己免疫性血液疾患

治療検査

・造血器腫瘍に対する抗がん剤治療、放射線治療、自家末梢血幹細胞移植
・自己免疫疾患性血液疾患に対する免疫抑制療法
・血球減少に対する、赤血球、血小板輸血、造血因子製剤
・日和見感染症などの合併症治療
・骨髄穿刺、生検、リンパ節生検
・分子標的治療薬をはじめとする新薬が相次いで開発されており、当院でも積極的に導入しています
・適応症例には積極的に外来化学療法を導入しています
・血液疾患が疑われる症例、全身疾患に伴う血液学的異常など、院内外の各種コンサルトに対応
・同種造血幹細胞移植、CAR-T療法は当院では実施できず、適応症例は北海道大学病院などの実施施設に紹介しています

特色

・救急、総合病院の血液内科として救急搬送された緊急性のある症例、診断未確定や診断困難な症例合併症や併存症で全身管理を要する症例にも、院内各専門科と密に連携して対応可能です
・札幌市東区における数少ない血液内科施設の一つです
・札幌市内の血液内科で、無料・低額診療を行なっている唯一の施設です
・無菌室11床（個室：3、4床室：2）
・放射線治療設備があります（緊急照射可能）
・日本血液学会専門研修認定施設
・北海道大学病院血液内科 関連施設
・北日本血液研究会（NJHSG）参加施設です

総合診療科

医師

医　員	医　員
戸田　将和	家口　紘子
Toda　Masakazu	Ieguchi　Hiroko

診療内容

・感染症	・意識障害	・呼吸不全	・循環不全
・電解質異常	・重症疾患	・複数併存疾患状態	・多発外傷
・急性薬物中毒	・原因不明の発熱		

治療検査

・適切な病歴聴取、身体診察から導かれる質の高い臨床推論を基に必要な検査を行い（不必要な検査は行わず）的確に疾患、病態を把握し国際的な基準に沿った根拠のある治療を行います

特色

・臓器別の診療ではなく、全身を総合的に捉えて診療します
・医学的適応だけではなく、患者さんの意向、周囲の状況、QOL（生活の質）を考慮し、多職種協働で質の高い診療を行います
・初期治療の後、病態が安定したら、当科で治療を完結することもあれば、専門科に診療を引き継ぐことがあります

脳神経内科

医師	内科副科長 河野　龍平 Kono Ryuhei	医　員 井上　智之 Inoue Tomoyuki

診療内容	・脳梗塞	・頸動脈狭窄症	・脳出血	・痙攣
	・てんかん	・外傷性頭蓋内出血	・脳炎髄膜炎	・脳症

治療検査
- ・脳梗塞：血栓溶解療法、血栓回収術を含む急性期再開通療法
- ・頸動脈狭窄症：頸動脈ステント留置術
- ・脳出血：内科保存治療
- ・痙攣、てんかん：脳波も含む精密検査
- ・外傷性頭蓋内出血：保存治療

特色
- ・麻痺、しびれ、痙攣、頭痛、めまいなど、神経系の疾患を疑う救急疾患を中心に診療
- ・脳神経系の精密検査や治療は当科で担当し、脳外科的対応が必要な場合は迅速に他院の脳神経外科へ紹介
- ・診察の結果、脳神経系が原因でなかった場合は、他科と協力して診療にあたります

緩和ケア科

医師	医　員 藤原　美佐紀 Fujiwara Misaki

診療内容
- ・悪性腫瘍

主な業務
- ・がん患者とその家族の生活の質を向上させるための診療
- ・非がん疾患患者とその家族の生活の質を向上させるための診療

特色
- ・患者一人一人に対し、多職種による目的別のカンファレンス
- ・リハビリテーションの視点を取り入れた医療、ケアの取り組み

呼吸器外科

医師				
	外科副科長	外科医長	外科医長	外科医長
	川原　洋一郎	田尾　嘉浩	林　浩三	諸星　直輝
	Kawahara Yoichiro	Tao Yoshihiro	Hayashi Kozo	Morohoshi Naoki

診療内容

- ・肺がん
- ・肺良性腫瘍
- ・気胸
- ・膿胸
- ・縦隔腫瘍など呼吸器外科疾患全般

治療

【肺がん治療】

比較的早期の肺がんに対しては、体に負担の少ない胸腔鏡手術を積極的に施行している。進行がん症例には、薬物療法と放射線療法をあわせた集学的治療を、他科と連携して行っている。
また、気管支形成や血管形成を行い、根治性を維持して極力肺全摘を回避している。
中枢型肺がんによる気道狭窄に対しては、呼吸状態の改善目的に気管支鏡下の腫瘍焼灼術や気管、気管支ステント留置術を行っている。

【気　胸】

1992 年から胸腔鏡手術を施行している。じん肺合併気胸や在宅酸素療法施行例を含む重度肺気腫症例など一般的に手術困難とされる症例にも、慎重に適応を検討し、積極的に手術を行い早期退院につなげている。

【膿　胸】

)肺炎治療実績があり、それに伴い膿胸の症例も多い。胸腔ドレナージで治癒が期待できない場合は、早期に胸腔鏡手術を施行し早期退院につな

特色

- ・呼吸器センターとして、同一フロアの呼吸器内科と密接に連携し診療を行っています
- ・呼吸器併存症（じん肺や肺気腫、肺線維症など）を持つリスクの高い症例への治療実績も多く
  呼吸器内科・麻酔科・ICU・看護部・リハビリテーション部が連携し周術期を管理しています

心臓血管外科

医師	
	心臓血管副センター長
	山川　智士
	Yamakawa Tomoji

診療内容

- ・冠動脈疾患
- ・心臓弁膜症
- ・大血管疾患
- ・胸部および腹部大動脈瘤
- ・下肢閉塞性動脈硬化症
- ・静脈瘤

治療検査

- ・冠動脈疾患、心臓弁膜症、大血管疾患に対する心臓大血管手術
- ・胸部および腹部大動脈瘤に対するステントグラフト手術
- ・下肢閉塞性動脈硬化症や静脈瘤などの末梢血管手術
- ・透析内シャント作成手術

特色

80歳以上の高齢者や腎不全・呼吸不全などの合併症を持つ方にも、循環器内科医師と協力し診断から
手術治療、全身管理まで総合的な診療を行っています

消化器外科

医師

副院長	外科医長	外科医長	外科医長
樫山　基矢	高梨　節二	浅沼　和樹	石井　健一
Kashiyama Motoya	Takanashi Setsuji	Asanuma Kazuki	Ishii Kenichi

医療連携・患者支援センター長
河島　秀昭
Kawashima Hideaki

診療内容

・腫瘍外科分野：食道、胃、十二指腸、小腸、結腸、直腸、肛門、肝臓、胆道、膵臓、脾臓、副腎、腎臓
・一般外科分野：ヘルニア、肛門疾患、胃瘻造設
・腹部救急外科分野：消化管穿孔・出血、虫垂炎、腸閉塞、腸管壊死

治療検査

【食道外科】
・早期がん（主に粘膜がん）は内視鏡的粘膜切除術や内視鏡的粘膜下層剥離術を内科と連携して行っています
・逆流性食道炎、食道裂孔ヘルニア、食道アカラシア、食道憩室、食道狭窄、良性腫瘍等の良性腫瘍に対しても内科的治療が困難な場合には、胸腔鏡や腹腔鏡を併用した手術を行う場合があります

【胃外科】
・早期がん（主に粘膜がん）は、HSE液局注を併用した内視鏡的粘膜切除術や粘膜下層剥離術へ応用され発展してきたEMRやESDの手技を内科と連携して行っています

【大腸肛門外科】
・大腸がん治療　・直腸がんに対する自然肛門温存手術　・内痔核に対するジオン注射治療
・直腸脱手術

【肝胆膵外科】
・良性疾患：胆嚢結石・総胆管結石・肝内結石症の治療、急性胆嚢炎の早期手術
・悪性疾患：肝細胞がん、転移性肝がんの治療

特色

・各専門科と連携し、内視鏡治療から化学療法や放射線治療などの集学的治療を行っています
・救急センターと連携し、24時間体制で腹部救急疾患を治療しています
・北海道がん診療連携指定病院として、他医療機関や施設から患者さんを受け入れています

乳腺外科

医師

外科科長
後藤　剛
Goto Takeshi

診療内容

・乳がん　・良性乳腺疾患

治療検査

・健診：マンモグラフィ検診、乳房超音波検診
・検査：乳房MRI検査、超音波ガイド下生検、ステレオガイド下生検、乳管造影
　BRCA遺伝子検査（保険診療）
・手術：乳房温存手術、乳房全切除術、乳房再建（一次二期）、腋窩郭清
　センチネルリンパ節生検（術中迅速）
・薬物療法：内分泌療法、分子標的薬、細胞障害性抗がん剤、免疫チェックポイント阻害剤
・放射線治療：標準的な照射、寡分割照射、定位照射
・他科との連携による再発治療
・形成外科非常勤医師との連携による、乳房再建や胸壁再建手術

特色

・検診、検査・診断、初期治療、再発治療、緩和治療を他職種や他科医師と連携し幅広いチーム医療を実践しています
・エビデンスを重視し、カンファレンスを行い個々の症例に合わせ柔軟に対応しています
・近隣医療機関との合同症例検討会の定期開催などで連携を進めています

整形外科

医師

副院長	整形外科科長	整形外科医長	整形外科医長
柴田　定 Shibata Sadamu	中田　幸夫 Nakata Yukio	山内　直人 Yamauchi Naoto	高橋　都香 Takahashi Satoka
医　員	**医　員**	**医　員**	
堺　慎 Sakai Makoto	大川　匡 Okawa Tadashi	伊藤　舜太郎 Ito　Shuntaro	

診療内容

【脊椎外科】
- 腰部椎間板ヘルニア
- 腰部脊柱管狭窄症
- 頚椎症性脊髄症・神経根症
- 頚部椎間板ヘルニア
- 環軸椎関節亜脱臼
- 脊椎、脊髄腫瘍
- 脊椎破裂骨折　など

【関節外科(下肢)】
- 変形性、リウマチ性股関節症
- 大腿骨骨頭壊死症
- 変形性、リウマチ性膝関節症
- 膝半月板損傷
- 膝靭帯損傷
- 足関節捻挫
- 外反母趾
- リウマチ足趾変形
- 大腿骨頚部、転子部骨折

【手の外科・肩】
- 五十肩、肩腱板損傷
- 橈骨遠位端骨折
- 変形性、リウマチ性肘関節症
- 肘部管症候群
- 手根管症候群
- 母指CM関節症
- 変形性、リウマチ性手指関節症
- リウマチ性手関節症、手指伸筋腱断裂
- 月状骨壊死症
- 舟状骨偽関節

手術

【脊　椎】
- 腰部脊柱管狭窄症に対する腰椎椎弓切除術
- 脊椎固定術
- 椎弓切除術
- 椎弓形成術
- 破裂骨折に対する経皮椎間固定術

【下肢(股・膝・足)】
- 人工股関節全置換術
- 人工膝関節全置換術
- 人工膝関節単顆置換術
- 高位脛骨骨切り術
- 人工足関節置換術
- リウマチ趾変形矯正手術
- 股関節骨折手術

【手の外科・肩】
- 手関節形成術
- 人工指
- 人工肘
- 人工肩
- 鏡視下腱板縫合術

特色
- 脊椎外科・関節外科・手の外科の3分野を大きな柱とし、各部位の関節症や脊柱管狭窄症、椎間板ヘルニアなど変性疾患の治療に力を入れています
- 各医長はそれぞれの専門分野を担当しますが専門に縛られることなく他分野の疾患も診療します
- 内科（リウマチ膠原病内科）と整形外科が病棟「運動器・リウマチセンター」で協働し、診療しています
- リウマチや透析その他の内科的合併症があり、整形外科単科のクリニックでは困難な場合でも手術可能です

泌尿器科

医師

泌尿器科科長
鈴木　龍弘
Suzuki Tatsuhiro

診療内容
- 血尿
- 頻尿
- 尿失禁
- 排尿障害
- 尿路感染症
- 尿路結石
- 前立腺肥大症
- 前立腺がん
- 膀胱がん

治療検査
- 膀胱尿道内視鏡検査、排尿機能検査、前立腺生検、前立腺や膀胱の内視鏡手術
- 年間約80人の入院患者に対し、麻酔を必要とする精密検査や処置、内視鏡による手術を行っています

特色
- 医療技術では、北大病院泌尿器科の援助をうけており、患者さんの紹介のみならず、日常的に症例検討会に参加し、診療レベルの維持、向上に努めています

麻酔科

医師

副院長	麻酔科科長	麻酔科医長	中央手術室部長
古明地　恭子	盛永　直樹	田中　進一郎	高橋　聡
Komeichi Yasuko	Morinaga Naoki	Tanaka Shinichiro	Takahashi So
医　員	医　員	医　員	医　員
高桑　良平	薮下　佑	藤原　幹人	脇坂 マリコ
Takakuwa Ryohei	Yabushita Yu	Fujiwara Mikihito	Wakisaka Mariko

診療内容

・手術室：診療各科依頼の手術を必要とする疾患
・ペインクリニック：帯状疱疹や帯状疱疹後神経痛、三叉神経痛、腰下肢痛、
CRPS(複合性局所疼痛症候群)、術後の痛み、あるいは長く続く慢性の痛みなど
・ICU：集中治療が必要な重症疾患、呼吸不全、心不全

治療検査

◆手術室◆
外科手術：消化器、呼吸器、心臓血管外科、乳腺外科、内分泌外科
整形外科手術
内科：内視鏡治療、透析関連手術、呼吸器検査
泌尿器科検査など

特色

・安心して麻酔を受けられるように、手術が決まった段階で小冊子「手術を受けられる患者さんへのご案内」をお渡しします
・手術前日には麻酔科医師が麻酔について説明します
・入院後に手術室看護師が術前訪問し、不安軽減に努めています
・手術翌日には麻酔科医が術後訪問をして、麻酔合併症の有無を確認しています
・当科は開設以来「並列麻酔」をしていません

救急科

医師

救急科科長	内科副科長	外科医長	医　員
田口　大	河野　龍平	林　浩三	鈴木　悠介
Taguchi Dai	Kono Ryuhei	Hayashi Kozo	Suzuki Yusuke

診療内容

・国内で定められた二次～三次救急病院規定に従い、主に救急搬入患者さんを対象とした初期診療と院内急変対応を担い、メディカルコントロールを実施します

治療検査

・多様な病気や症状をもつ患者さんに対し、主には緊急性の高い病気や症候群の検査・治療を優先的に行っています。
また、当科処置は救急医学会で必修処置に挙げる項目全てに対応しています

特色

・可能な限り救急搬入を断らないために、救急科医師が常駐するような診療体制を展開している。
・北海道大学病院救急科・札幌医科大学救急医学講座・江別市夜間急病センターなどからの非常勤医師と協働することで、相互の知見や技術の交流を図っている。
・重篤な高齢者の診療では、患者の最善の利益に重点を置き、患者・家族の意向の尊重を心がけ、積極的にcode status の確認を行っている。

婦人科

医師	医　員 坂本　和利 Sakamoto Kazutoshi
診療内容	・子宮良性腫瘍：子宮筋腫、子宮腺筋症の診断と保存的な治療 ・子宮悪性腫瘍：子宮頚部がん、子宮体部がんの診断と検査、不正出血がない時は子宮頚部がん検査のみを、不正出血がある時は子宮体部がん検査を推奨 ・卵巣腫瘍：良性卵巣腫瘍、境界悪性卵巣腫瘍、卵巣がん、その他の婦人科腫瘍の診断 ・外陰膣疾患：外陰や膣のかゆみ、痛み、帯下、出血 ・更年期障害：更年期うつ病、不眠、頭痛、冷え性、のぼせ症、その他、色々な症状の診療 卵巣機能低下のために多くなる骨粗鬆症、高脂血症、高血圧などの診断と治療 ・月経関連の症状：月経困難症、月経随伴症状、月経前緊張症など、月経前後に起こる多くの症状 月経不順、月経前緊張症、排卵痛などの月経に関係した疾患、症状など ・性感染症：クラミジア、淋菌、トリコモナス、カンジダ感染症など ・上記の婦人科疾患以外でも、女性全般に関した相談を受けています
治療検査	・子宮頸がん・子宮体がん検診 ・経膣エコー ・骨盤CT、MR、エコー検査
特色	・広く女性全般に関した疾患の相談も受けています。

眼科

医師	眼科科長 田内　慎吾 Tauchi Shingo
診療内容	・屈折異常：近視、乱視、遠視 ・調節障害：老視 ・前眼部疾患（眼瞼）：霰粒腫、麦粒腫、内反症、睫毛乱生、兎眼、眼瞼帯状ヘルペス ・前眼部疾患（結膜炎）：細菌性、ウイルス性（流行性角結膜炎）、アレルギー性 ・前眼部疾患（角膜）：角膜鉄片異物、コンタクトレンズ角膜炎、角膜ヘルペス、乾燥性角結膜炎 ・前眼部疾患（涙器）：慢性涙のう炎、先天性鼻涙管閉塞 ・白内障：老人性、ステロイド白内障、糖尿病性 ・緑内障：急性緑内障発作、原発性開放隅角緑内障、正常眼圧緑内障 ・ぶどう膜炎（ベーチェット病、サルコイドーシス、原田病、その他） ・網膜疾患：糖尿病網膜症、網膜血管閉塞症（網膜動脈閉塞症、網膜静脈閉塞症）、加齢黄斑変性 中心性漿液性網脈絡膜症、網膜色素変性症 ・視神経疾患：視神経炎（視神経乳頭炎、球後視神経炎）、虚血性視神経症
治療検査	・光凝固治療：網膜光凝固、レーザー緑内障治療 ・眼鏡合わせ：遠用、近用、遠近両用 ・コンタクトレンズ合わせ：ハード、ソフト、連続装用、ディスポーザブル ・涙道洗浄（生理食塩水） ・矯正視力検査　・精密眼圧測定　・光干渉断層計（ＯＣＴ）　・涙液分泌機能検査 ・静的視野検査　・網膜電図　・動的量的視野検査　・蛍光眼底造影検査 ・色相配列検査　・眼窩部ＣＴ、ＭＲＩ
特色	・眼科一般の外来診療を完全予約制（必要に応じて、当日診察可）で行っています。 ・糖尿病、膠原病などの眼合併症の患者の割合が多い。

放射線治療科

医師	放射線科医長 出倉　康裕 Dekura Yasuhiro
診療内容	・全ての悪性腫瘍が対象です。特に乳がん、肺がん、消化器がん、悪性リンパ腫、転移性腫瘍（脳・肺・骨）が多いです ・甲状腺眼症、ケロイド、脾腫などの良性疾患も対象としています。
治療検査	◆放射線治療◆ ・放射線治療装置リニアック バリアン メディカル システムズ社製 CLINAC iX
特色	・定位放射線治療、画像誘導放射線治療、4D－CT による呼吸同期法を用いた照射など、高精度な治療法を行っています ・患者さんの負担の少ない短期間での照射を積極的に導入しています ・地域の医療機関とも積極的に連携をとり、気軽に相談も受けています

放射線診断科

医師	放射線科科長 吉川　大平 Yoshikawa Daihei	放射線科医長 藤田　希実 Fujita Nozomi	医　員 近江　早苗 Omi Sanae	医　員 水尾　秀代 Mizuo Hideyo
診療内容	・診療各科の全ての疾患			
治療検査	◆各種放射線検査◆ ・一般撮影　・乳房撮影　・TV検査　・胃Ba検査　・注腸Ba検査 ・脳血管造影　・腹部血管造影　・骨密度検査　・CT検査　・冠動脈CT検査 ・MR検査　・RI検査　・RI SPECT　・心臓カテーテル検査			
特色	・短時間で苦痛なく受けられるよう努力しています ・診療用放射線の安全管理を整備し、患者被ばく線量の低減に取り組んでいます			

病理診断科

医師	病理科科長 八代　真一 Yashiro Shinichi	医員 鹿野　哲 Kano Satoshi	医　員 松田　玲奈 Matsuda Reina	医　員 伊藤　真理子 Ito Mariko
	医　員 佐々木　豊 Sasaki Yutaka			
診療内容	・診療各科の全ての疾患			
治療検査	・細胞診断 ・組織診断（生検診断、手術検体の組織診断） ・迅速診断 ・病理解剖			
特色	・消化器領域の生検、材料の診断が最も多く、次に乳腺・呼吸器・腎生検の診断が多い（特に肺がんおよび職業性呼吸疾患） ・血液・リンパ節疾患の診断が近年増加している			